

モデル事業



キッズダンス講座

「流行りのアニメ映画ソングで踊ってみよう」開催！



参加したキッズたちの感想です！

コロナ感染拡大で8月から延期されたモデル事業キッズダンス講座を、11月13日(日)ふじみ野交流センターで開催しました。

昨年開催したときと同様、市内でキッズダンスを長年にわたり指導する黒川由美子さん(No.328)を講師としてお招きし、子どもたちにレッスンをさせていただきました。

子どもたちが楽しく安全に踊れるよう、テープを床に貼ってソーシャルディスタンスを保ち、会場設営は万全。参加したのは、小学生や幼児9人です。「さあ、踊ってみよう！」という黒川講師の掛け声でレッスンスタート。やがて、ダンスのテンポが速くなり、

振付もかなり複雑になりますが、最初からノリノリだった子も、やや遠慮がちだった子も、もう、皆、体を思い切り動かしています。レッスン開始から50分、黒川講師から「それじゃ、曲の最初から最後まで通して踊ってみようね！」と声がかかり、皆一緒に踊ります。コメディタッチの決めポーズもバッチリ。わずか1時間のレッスンでここまでできるとは、すごい！子どもたちは、大きな拍手をするお父さんやお母さんに「ヤッター！！」と胸を張りました。

(記・市民人材バンク推進員の会 中澤佳珠代)

「抱っこでごきげん ベビーダンス」



鶴瀬公民館で行われているお母さんのステップアップ講座に、ベビーダンス講師としてお邪魔してまいりました。

ベビーダンスは、抱っこ紐で赤ちゃんを抱っこして、保護者が簡単なステップを踏むという社交ダンスを元に考案された小児科医監修のプログラムです。

前半は、赤ちゃんとの触れ合い遊びなどを行い、抱っこ紐の装着チェックをしました。一人ずつ適切な位置に調節すると、「抱っこが楽!」と喜んでくれる方が多いんです。ステップが始まると寝



てしまう赤ちゃんが多いのも特徴です。保護者の皆様も程よい運動量でリフレッシュになった方も多いようでした。

講座終了後には、お母様同士連絡先交換や育児情報の話題で意気投合されている様子も見られました。良いきっかけの場となれたこと、大変嬉しく思います。

ご参加の皆様ありがとうございました。

(記・No.334 大山 かおるさん)



エプロンシアター

クリスマス会でのエプロンシアター

No.33 秋元 節子さん



(記・勝瀬地区社会福祉協議会
市民人材バンク推進員の会 押田 二)

勝瀬地区社会福祉協議会では、毎年恒例となっておりましたクリスマス会を3年ぶりに開催することができました。
以前にも市民人材バンクを通してお願いしたことがある秋元さんに、今回もパネルシアターをお願いいたしました。
クリスマス会では、まずは人形劇、さらに2人参加してハンドベルの演奏を披露後、パネルシアターをしていただき、子どもたちと一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

音楽はかけがえのない存在です…

富士見市コミュニティ大学において、「西洋音楽の歩み」と題しまして、音楽が西洋から日本へと伝わった歴史をお話しさせていただきました。

2部構成で、1部は演奏を交え日本史と比較しながらの曲名と作曲者の紹介、2部は受講生の方々にご参加いただき、懐かしい日本歌謡を説明を交えながらの演奏となりました。

受講生の皆さまには、熱心に耳を傾けて聴いてくださり、気持ちよく演奏ができたことに感謝いたします。

私たちの生活において、音楽は心の支えとなったり、時には気持ちを落ち着かせてくれ



たりする魔力があり、かけがえのない存在であると思っています。

これをきっかけに何か一つでも音楽に興味を持っていただけたら幸いです。

理事長をはじめ、スタッフの方々には、機材の搬入のお手伝いやPCでの素晴らしい資料作成を担っていただいたこと、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。(記・No.199 プチ・カドゥ 中島 真理さん)

イベント協力で活躍

念願の第38回定期演奏会を開催しました！



受付を担当して下さった
阿部 境子さん (No.239)
鈴木 洋子さん (No.250)

今年発足 40 年を迎えるクラシックギターアンサンブルの「ふじみギターフレンズ」です。

発足以来毎年開催してきたギターコンサートですが、2020 年は新型コロナウイルスの感染拡大により、中止を余儀なくされました。

この3年間、コロナやウクライナ侵攻等、国内外ともに不穏な時世を迎え、何かと不自由な生活を強いられた中、活動を自粛し楽しみのギター練習活動を続けてきました。

1年間の練習の集大成は可能な限り一堂に会して、長い間応援して下さいの方々と共に楽しめる場を持ちたいという強い希望と願いを込めて一昨年、針ヶ谷コミュニティセンターで第37回目のコンサートを小規模で行いました。その経験



を活かし、昨年12月21日(水)のウィークデーに鶴瀬コミュニティセンターで、念願の第38回定期演奏会を開催することができました。

さらにウィークデーながら、予想を超える大勢のお客様と和気あいあいと楽しみながらプログラムを進行、無事盛会に終了することができました。

これも偏に、来場者の皆さまに加え、関係者の皆さま、受付を担当していただいた市民人材バンク登録者の方々や、コミュニティ協議会のサポーターの方々のご協力とお力添えの賜物と、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

(記・No.356 ふじみギターフレンズ代表 簀戸 長太郎さん)

どうぶつのはなしをしよう



の親子の手形をコピーし、参加者の親子に比べてもらいました。また、親御さん向けに、最初のパンダが死亡した時の秘話をお話ししました。

絵本とのコラボ、幼児から小学生が対象との話を伺い、理解力に大きな開きがある年代で、どの年齢に合わせるか悩みました。

参加者は2歳から8歳まで、親同伴でした。質問形式になった動物の絵本を3冊ほど導入に使用しましたが、8歳の子が全て答えました。

動物園在職時のゴリラ

その後、シユロの葉でのバッタ作りを行いました。難しいので、事前で作成しておいたバッタを竹の台に付け、旗に絵をかいてもらい台に付けるという作業をしてもらいました。

アンケートでは、二重丸をもらえたようですが、理解力に大きな開きがある子供達にどう楽しんでもらえるか？講師として試行錯誤をしながらの講座となりました。

(記・No.258 小森 和雄さん)

展示コーナー

カルトナーージュ作品を展示

小川光枝さん (No.237)

(1月12日から2月中旬まで)



●カルトナーージュ

厚紙(カルトン)で作った箱に、布や紙を貼って仕上げるフランス生まれの手工芸品です。

書道作品を展示



八山龍青さん (No.94)

(12月8日から1月11日まで)



推進員のつぶやき

希望を持って…

コロナ禍も3年目。今まで中止だった催し物が復活してきましたが、まだまだ感染者が出ています。行動制限がなくなり、TVニュースでは年末年始、各地で大変な賑わいを映していました。

その裏では値上げ競争、生活が安定してきているとは思えません。世界に目を向ければ、ロシアのウクライナ侵攻で、食料不足、燃料不足と苦しんでいる国が多発しています。

私が5歳のとき、日本も東京大空襲で悲惨な目に遭い、夜、東南の空が真っ赤になったのが水子から見えた…と母が何度も語っていたことを思い出します。

ウクライナにおいても、民間人が逃げ惑う姿は見るに堪えません。戦争もコロナも早く収束することを祈るばかりです。

人生百年時代とは言え、市民人材バンク、生涯学習、学びあい、助け合いは、世の中が平穏であればこそできることです。

街中のインタビューでは、今年は無サギ年、飛躍しようというプラス思考の声が聞こえます。希望を持って進みましょう。

(記・市民人材バンク推進員の会 荒井 章夫)